

令和5年度プロジェクト研究成果報告会

令和6年3月19日

# 「新たな教師の学びの姿」の実現に向けた 教員研修の研究

北海道立教育研究所



## 目次

- I 問題意識
- II 研究目的
- III 研究方法
- IV 実際(結果)
- V 分析・考察
- VI 成果(結論・提案)
- VII 今後の課題
- VIII 参考文献



## I 問題意識



### 国の動向

#### 【新たな教師の学びの姿】

- 変化を前向きに受け止め、探究心を持ちつつ自律的に学ぶという「**主体的な姿勢**」
- 求められる知識技能が変わっていくことを意識した「**継続的な学び**」
- 新たな領域の専門性を身に付けるなど強みを伸ばすための、一人一人の教師の個性に即した「**個別最適な学び**」
- 他者との対話や振り返りの機会を確保した「**協働的な学び**」

「『令和の日本型学校教育』を担う新たな教師の学びの姿の実現において（審議まとめ）」  
令和3年11月15日 中央教育審議会「令和の日本型学校教育」を担う教師の在り方特別部会

## I 問題意識



### 北海道の動向

「北海道教育推進計画（令和5年度～令和9年度）」

施策項目16 教員の養成・採用・研修の一体的な改革の推進

- 地域特性を踏まえた人事配置、遠隔システム等を活用した教員研修の実施（一部抜粋）
  - ・大学等との連携による多様な研修コンテンツの提供等、**個別最適な学びに対応した研修の充実**
  - ・オンラインミーティングや集合型の演習等による、**教員同士の協働的な学びの促進**
  - ・教員育成指標に照らして、個人目標を設定し研修受講の見通しをもつことができる、自己診断シート等の活用による、**個別最適な研修を選択し主体的に資質能力の向上に取り組める仕組みの構築**

# I 問題意識



## 道研の動き

### 【令和元年度以前】

- 集合型研修が主な形態

### 【令和元年度】

文部科学省委託事業「少子化・人口減少に対応した活力ある学校推進事業」

### 【令和2年度】

- コロナ禍により集合型研修の実施が難しい状況
- 既存の研修を基にした研修観及び研修様式の転換
- 北海道の広域性に適した研修様式の模索

### 【令和3年以降】

- 北海道の広域性に適した研修様式の確立

# I 問題意識



## R2 5つの研修様式を提案

### ① 集合型研修

従来どおり道研に  
集合して実施

### ② 分散型研修

時間帯や会場を  
分散して実施

### ③ オンデマンド型研修

配信中の都合のよい日に  
コンテンツを視聴して実施

### ④ 遠隔型研修

Web会議システムを活用し  
双方向通信により実施

### ⑤ 紙上型研修

HP掲載資料等をもとに  
個人で実施

## R3 研修様式の組合せを開始

### II 「研修様式の最適な組合せ」 に基づく研修効果の向上

1つの研修講座の中で複数の研修様式を組み合わせ、移動負担や感染リスクを軽減させつつ、研修効果の向上を目指します。

#### 実施例

#### オンデマンド型研修

基礎知識の習得

#### 遠隔型研修

双方向の研修で  
理解促進

#### 自己研修

研修内容の  
実践と還元

#### 集合型研修

実践内容の共有・再構築



空き時間に  
自分のペースで



自校を離れず  
協議に参加



授業や校内  
研修等で活用



コンパクト化  
して実施

## II 研究目的

「新たな教師の学びの姿」の実現に向けて、「オンデマンド型研修」「職場実践」、「遠隔型研修」等の複数の研修様式を組み合わせた研修モデルを提案する。

## III 研究方法

- (1) 講座終了直後アンケート
- (2) 受講者及び所属先管理職への聞き取り調査

### I 各研修様式に関わるもの

- (1) オンデマンド型研修
- (2) 遠隔型研修
- (3) 職場実践

### 2 研修様式の組合せに関わるもの

- (1) 研修のプロセス
- (2) 一定の期間を挟んで実施する研修

# (参考)

令和5年度(2023年度)北海道立教育研究所研修講座一覧

区分・講座番号	講座名	略称	研修講座日程			対 象		受講者以外への公開			
			①	②	③	小	中	高	特	ライブ	オンデマ
校長等 管理職	1 学校経営研修1 ～学校経営におけるアセスメントとファシリテーション～	学校経営	①遠隔 8/8(金)	②選択 9/8(金)	③遠隔 10/18(水)	○	○	○	○	①	①
	2 学校経営研修2 ～組織力を高める校長のマネジメント～	組織力	①遠隔 8/25(金)	②遠隔 11/22(水)		○	○	○	○	①	①
	3 学校経営研修3 ～学校教育の質を高める働き方改革～	働き方	①オンデマ 6/8(火)～6/19(月)	②遠隔 6/20(火)～6/21(水)	③遠隔 9/20(金)～9/21(木)	○	○	○	○		①
	4 学校経営研修4 ～協働性、同僚性を高める管理職のマネジメント～	協働性	①遠隔 10/2(月)			○	○	○	○	①	①
	5 学校経営研修5 ～学び続ける教員を支える教員研修～	教員研修	①遠隔 5/31(水)	②遠隔 9/13(水)		○	○	○	○		
	6 学校経営研修6 ～スクールロイヤーから学ぶ危機管理体制の在り方～	危機管理	①遠隔 10/6(金)	②選択 10/6(金)		○	○	○	○	①	①
教員・ミッド	7 学校運営研修1 ～組織を活性化させるヒューマンリソース・マネジメント～	組織活性化	①オンデマ 6/1(木)～6/14(水)	②遠隔 7/12(水)		○	○	○	○		①②
	8 学校運営研修2 ～組織開発につながる校内研修～	組織開発	①オンデマ 5/23(火)～6/6(火)	②遠隔 6/27(火)		○	○	○	○		

14	中学校外国語教育充実研修 ～外国語でコミュニケーションを図る資質・能力を育成する指導の在り方～	中外交	①オンデマ 6/21(水)～6/30(金)	②遠隔 7/11(火)	③遠隔 10/26(金)				○		②③
15	小学校外国語教育充実研修 ～外国語でコミュニケーションを図る基礎となる読資・能力を育成する指導の在り方～	小外交	①オンデマ 6/18(月)～6/28(月)	②遠隔 7/3(月)	③遠隔 10/13(金)・10/16(月)				○		②③
16	英語力ブラッシュアップ研修(小学校)	英語力	①遠隔 8/22(火)	②遠隔 8/29(火)	③遠隔 9/6(火)	④遠隔 9/27(水)	⑤遠隔 10/24(火)		○		
専 門	17 S-TEAM教育推進事業「STEAM」推進プロジェクト「理数探究セミナー」(高等学校)	理数探究	①遠隔 11/2(木)	②遠隔 11/17(金)	③遠隔 12/12(火)				○		
	18 科学的に探究するために必要な資質・能力を育む実践力向上研修(中学校)	中科研	①遠隔 10/10(火)	②オンデマ 10/11(水)～	③集合 11/8(水)～11/9(木)	④遠隔 2/6(火)			○		
	19 問題を科学的に解決するために必要な資質・能力を育む実践力向上研修(小学校)	問題解決	①遠隔 9/20(水)	②オンデマ 9/21(木)～	③集合 10/5(木)～10/6(金)	④遠隔 1/29(月)			○		
	20 商業科教員の実践的指導力向上研修 ～商業科目の授業づくりの進め方～	商業	①オンデマ 9/11(月)～9/30(土)	②集合 10/19(木)～10/20(金)					○		
	21 工業科教員の実践的指導力向上研修 ～科目「工業情報数理」の授業づくりの進め方～	工業	①オンデマ 9/11(月)～9/30(土)	②集合 10/12(木)～10/13(金)					○		
生徒指導	22 生徒指導研修1 ～いじめ問題への組織的な対応～	いじめ	①オンデマ 6/13(火)～6/27(火)	②遠隔 7/3(月)	③遠隔 11/28(火)				○	○	②
	23 生徒指導研修2 ～不登校児童生徒への支援の在り方～	不登校	①オンデマ 6/15(木)～6/29(木)	②遠隔 7/6(木)	③遠隔 7/13(木)				○	○	

# (参考)

## 研修様式を組み合わせた研修の例

### 小学校外国語教育充実研修






オンデマンド型研修

6/19～6/26  
「講義」  
○ 講師による講義  
動画の視聴

遠隔型研修 I

7/3  
「講義・協議・演習」  
○ 講師による講義  
○ 自己の課題の明確化及び今後の取組の充実に向けた協議

職場実践・中間フォローアップ

7月中旬～10月中旬  
○ 学習指導案の作成  
○ 作成した学習指導案に基づく実践  
○ 研究研修主事による授業実践に向けた個別のフォローアップ

遠隔型研修 II

10/13又は16  
「授業参観」  
「協議」  
○ 受講者のうち希望する1名の授業を参観  
○ 授業参観に基づいた協議

フォローアップ

11月  
○ 実践に係る個別の聞き取り、助言

遠隔型研修 I・II 講師 文部科学省初等中等教育局視学官 直山 木綿子 氏



## IV 実際(結果)

### 道研における研修講座

A	B	C
(オ) → (職) → (遠)	(遠) → (職) → (遠)	(オ) → (遠) → (職) → (遠)
○学校運営研修I ～組織を活性化するヒューマン リソース・マネジメント～ など	○学校経営研修5 ～学び続ける教員を支える 教員研修～ など	○小学校外国語教育充実研修 など
<ねらい> ○オンデマンド型研修で知識を 習得し、職場実践に取り組む。 ○職場実践の結果を交流して、 より多くの実践を知る。	<ねらい> ○遠隔型研修で必要に応じた協 議等を通して、知識を習得し、 職場実践に取り組む。 ○職場実践の結果を交流して、 より多くの実践を知る。	<ねらい> ○自己(自校)の課題を明確に して、解決に向けて研修に参加 する。 ○職場実践を通じて、課題解決 を図る。

※「(オ) → オンデマンド型研修、(遠) → 遠隔型研修、(職) → 職場実践

## V 分析・考察

### I 各研修様式に関わるもの

#### (1) オンデマンド型研修

- ・自分の都合のいい時間に、何回でも見ることができる。
- ・授業や校務に影響が少なく、落ち着いて受講できる。
- ・事前に必要な知識を身に付けてから遠隔型研修に臨める。

#### (2) 遠隔型研修

- ・他の受講者のアイデアを参考に授業改善に生かすことができる。
- ・離れた学校の先生との交流ができる。
- ・実践したことを振り返り、あらたな課題を見いだすことができる。

#### (3) 職場実践

- ・まとまった期間で課題があるのは取り組みやすい。
- ・職場実践を通して課題を明らかにできる。
- ・フォローアップすることで、個別に支援ができる。

## V 分析・考察

### I 各研修様式の特徴

研修様式	ねらい	特徴	学びの姿			
			主体	協働	個別	継続
オンデマンド型	教育課題の解決策に係る知識をインプット	オンラインで、時間や場所の制約を受けず、自分のペースで知識を習得できる。	○		○	
遠隔型	課題設定 課題探求	協議を通して、自身(自校)の課題解決につなげる。実践を振り返り、新たな課題を設定する。	○	○		
職場実践	課題解決	まとまった期間をとることで、試行錯誤しながら課題解決をすることができる。	○		○	

## V 分析・考察

### 2 研修様式の組合せに関わるもの

#### (1) 研修のプロセス

- ・オンデマンド型研修で前提となる概念や知識を得た上で、遠隔型研修で協議を行うことができたので、より理解が深められた。
- ・オンデマンド型研修で研修の目的や基本的な概念、知識を得ることで研修意欲が高まった。
- ・職場実践を挟むことで、課題が明らかになる。

#### (2) 一定の期間を挟んで実施する研修

- ・時間があつたことで、学校の現状に応じた情報共有ができた。
- ・期間が長くあることで、じっくり考える時間ができた。
- ・各研修間で自校の現状を整理した上で再度協議ができた。
- ・期間があくことで、その間に疑問に思ったことなどを調べたり試してみたりすることができた。

## V 分析・考察

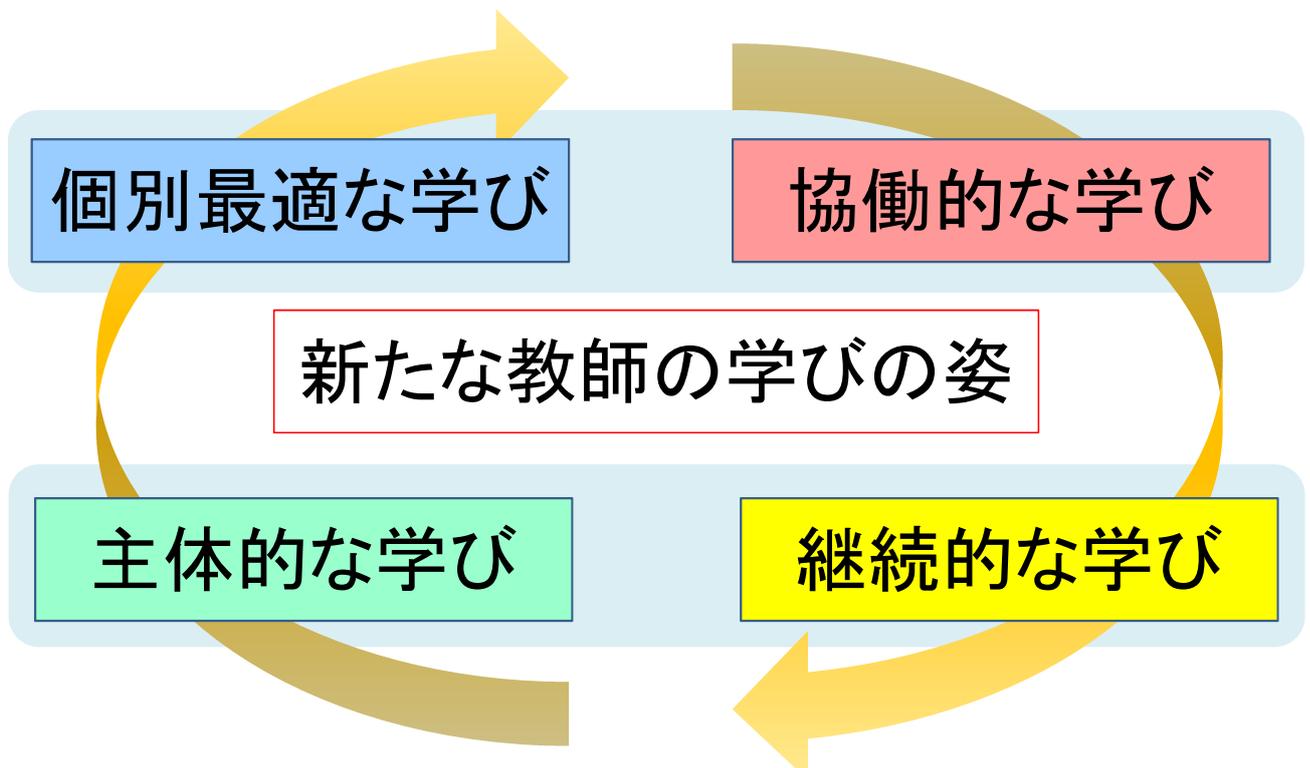


### 2 研修様式の組合せによる特徴

組合せ	特徴	学びの姿			
		主体	協働	個別	継続
A (オ) → (職) → (遠)	・オンデマンド型研修で習得した知識を基に職場実践に取り組み、その結果を交流することで、教育課題についてより深く理解することができる。	◎	○	◎	○
B (遠) → (職) → (遠)	・遠隔型研修で専門的な課題について習得した知識を基に自己の課題を明確にし、職場実践に取り組んだ結果を交流することで、専門的な課題について深く理解することができる。	◎	◎	○	○
C (オ) → (遠) → (職・フォ) → (遠) ※フォ→フォローアップ	・事前に習得した知識を基に遠隔型研修における協議を通して、自己課題を明確化し、課題の改善に取り組むことができる。 ・職場実践におけるフォローアップを行うことで、個別の課題解決が図られる。	◎	◎	◎	○

組み合わせることで継続性をもたせる。

## VI 成果(結論)



## VI 成果(提案)



<研修様式の組合せ>

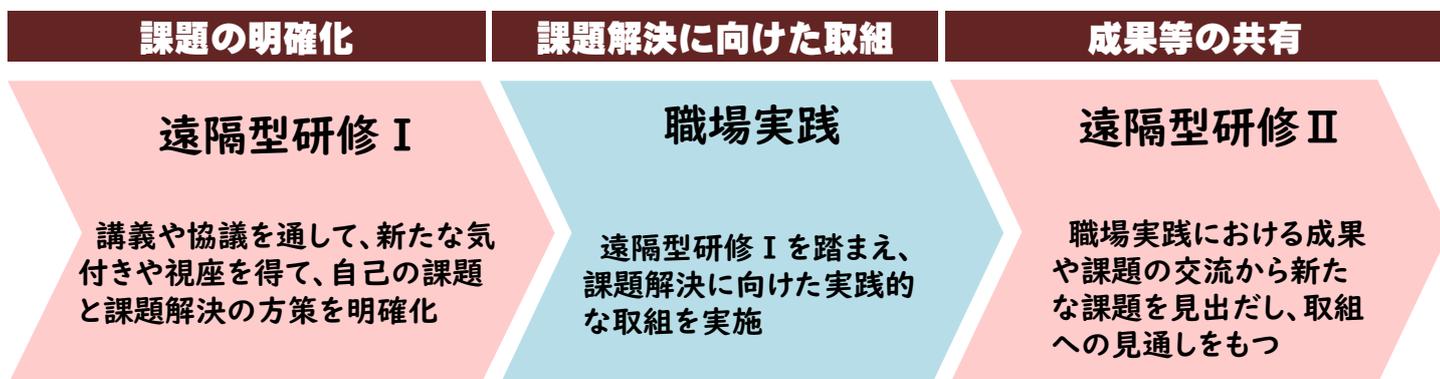


<対象>経験の浅い教員、新たな教育課題など

## VI 成果(提案)



<研修様式の組合せ>



<対象>管理職や教科担当、生徒指導主事など

## VII 今後の課題

### 研修講座の改善・充実に向けて

- 研修運営者、企画者の研修観の転換
  - ・研修の目標・内容・手段を精査・検証
  - ・アンケートの工夫・改善（研修到達度、研修満足度）
  - ・遠隔型研修における協議・演習の在り方
  - ・職場実践期間や研修終了後の支援の在り方
  - ・集合型研修の工夫改善
  - ・探究・省察型研修

## VII 今後の課題

### 探究・省察型研修

#### 特徴

- 自らの視座、価値観、思いを捉え直したり発見したりすることとで、実践を変革出来るようになることを目指す研修。



遠隔型研修  
又は  
集合型研修

- ① 実践の省察
- ② 課題の設定
- ③ 実践の交流
- ④ 実践の省察



## VIII 引用・参考文献

---

・教職員研修の手引き 2018 -効果的な運営のための知識・技術-

(独立行政法人教職員支援機構)

・研修の効果測定-研修講座の工夫・改善に向けて-

(奈良県立教育研究所)

「『令和の日本型学校教育』を担う教師の養成・採用・研修等の在り方について～「新たな教師の学びの姿」の実現と、多様な専門性を有する質の高い教職員集団の形成～」(答申)

令和4年12月19日 中央教育審議会

「『令和の日本型学校教育』を担う新たな教師の学びの姿の実現において(審議まとめ)

令和3年11月15日 中央教育審議会「令和の日本型学校教育」を担う教師の在り方特別部会



御静聴いただき、ありがとうございました。

